

平成 29 年度全国学力・学習状況調査における柏市の調査結果の概要

柏市の調査結果の概要を、千葉県教育委員会が作成した県全体の調査結果報告リーフレットにならい、まとめました。

柏市の今年度の結果

各調査の平均正答率（小数点以下四捨五入）及び標準化得点は下表のとおりであり、概ね全国平均と同程度でした。しかし、算数・数学の知識に関する問題に課題もみられます。

※「標準化得点」とは、柏市の平均正答率を、全国平均正答率を100として換算した値です。

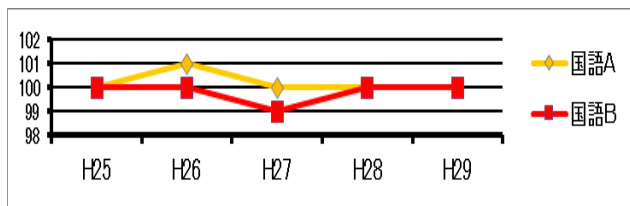
過去の調査の標準化得点と比較することで、柏市の経年変化のおおよその傾向を把握することができます。

		小学校				中学校			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	平均正答率 (%)	75	58	79	46	77	72	65	48
柏市	平均正答率 (%)	75	56	76	45	76	72	64	48
	標準化得点	100	100	99	100	99	100	99	100

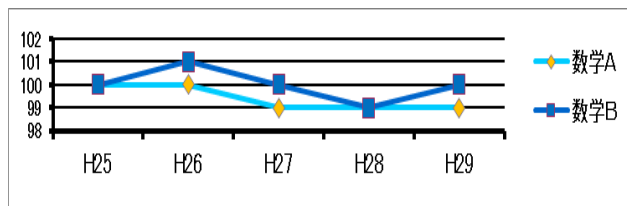
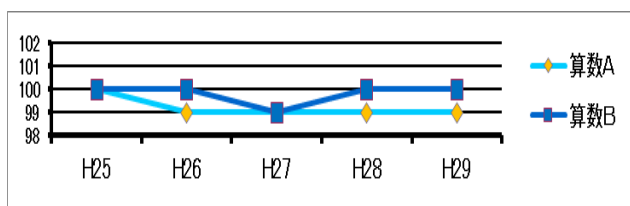
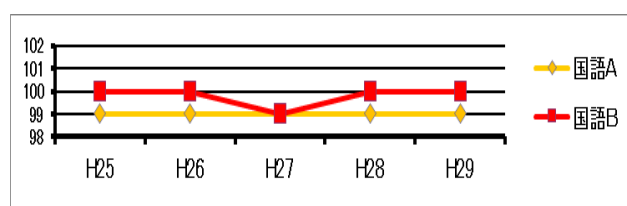
柏市の標準化得点の推移（平成25年度～29年度）

昨年度と概ね同程度です。中学校において数学B（活用問題）に上昇がみられます。

【小学校】



【中学校】

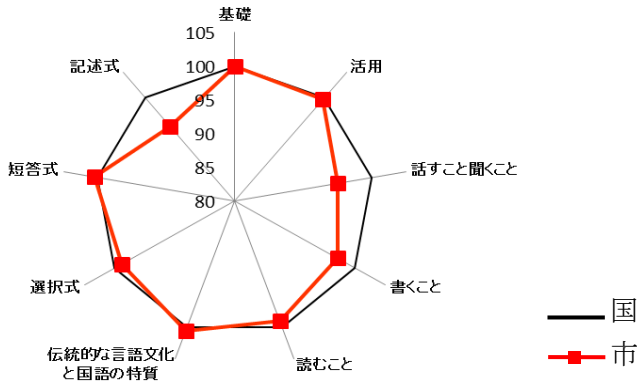


教科の傾向と課題 について

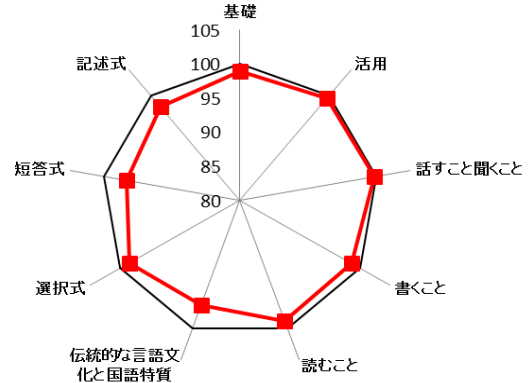
※標準化得点（全国平均正答率を100とした場合の、柏市の平均正答率（赤））を表しています。

※課題への詳細な対応策は、「平成29年度柏市学力・学習状況調査結果報告及び改善案」をご覧ください。

【小学校（国語）】



【中学校（国語）】

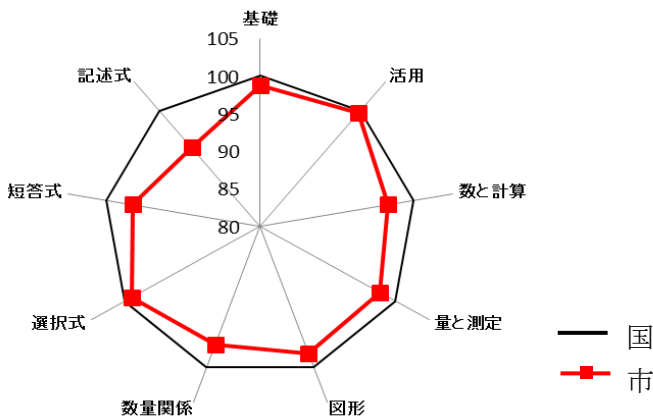


全体は、全国と同程度ですが、「話すこと・聞くこと」の領域や「記述式（文章で解答する）」問題に課題がみられます。問題別では「友達の助言を基に、話の構成や内容を工夫して、自分の考えを話す」ことに課題がみられました。

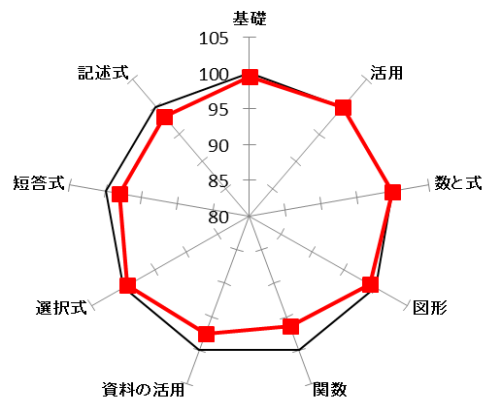
「記述式」問題は、昨年度と比較すると上昇しており改善がみられました。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内容である、基礎的な「漢字を書くこと」や「語句の理解」に課題がみられました。

☆「書く」「話す・聞く」「読む」それぞれの領域で、児童生徒が学習の目的を明確に持ち、主体的に課題解決に向けた意見交換ができるよう、指導改善に努めます。

【小学校（算数）】



【中学校（数学）】



全体は、全国と同程度ですが、記述式の問題に課題がみられます。問題別では、「たし算・かけ算が混合した計算」や「工夫して平均を求める」問題に課題がみられました。

全国と同程度ですが、「活用」問題が昨年度と比較して上昇しました。特に「図形」の領域に上昇がみられました。問題別では、「グラフから式を求める」問題や「比例定数を求める」問題等、「関数」の領域に課題がみられました。

各自で問題を解決した後、友達どうして問題解決の方法を説明し合ったり、新たな解答方法や新たな問いを見いだしたりと、児童生徒の学び合いにより理解をさらに深められるよう、指導改善に努めます。

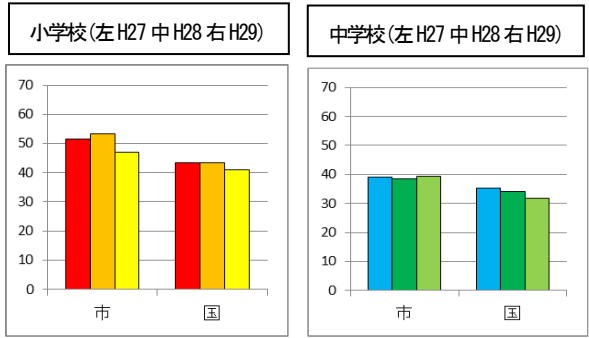
生活習慣や学習環境等 について（児童・生徒質問紙調査から）

【家庭学習について】

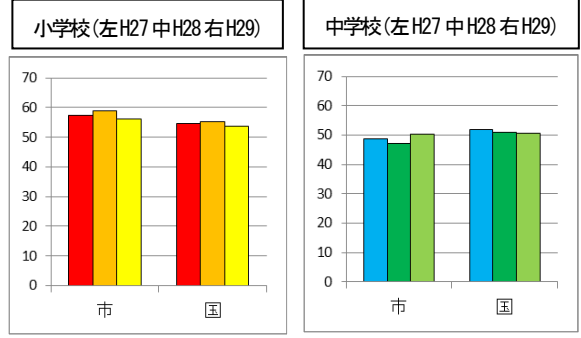
① 柏市の児童生徒は、予習より復習の方が肯定的回答（している）の割合が高い傾向にあります。小中学校ともに、復習している割合は国と同程度、予習をしている割合は国より高くなっています。

国と比較して、2時間以上家庭学習をしている割合が多い一方で、しないと回答する子供もおり、二極化していることが課題です。また、授業時間以外で30分以上読書している割合は、国と比較して、中学校は同程度、小学校では高く、良好な状況です。

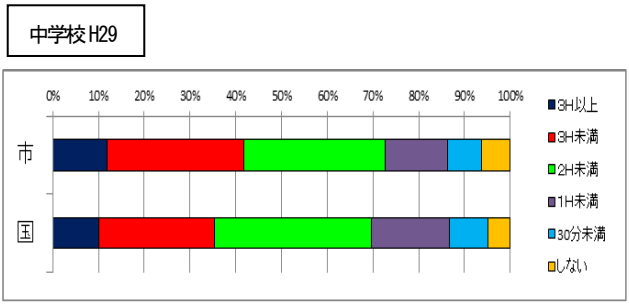
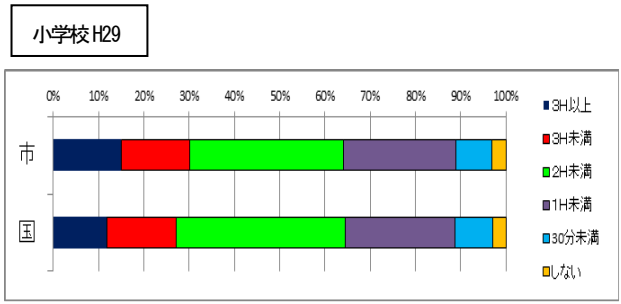
●家で、予習をしているか（肯定的回答の割合）



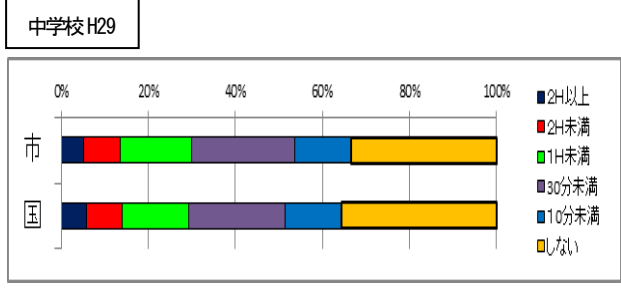
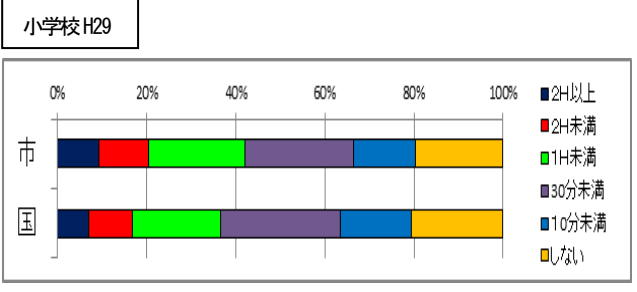
●家で、復習をしているか



●学校の授業時間以外で、普段（月～金）、1日当たりどれくらい勉強するか（塾・家庭教師含む）

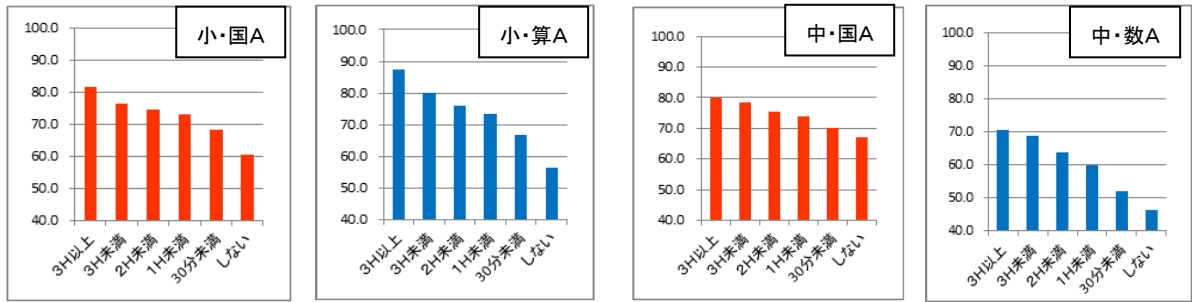


●学校の授業時間以外で、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか（教科書、参考書、漫画、雑誌は除く）



② 家庭学習の時間が長い子供のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。

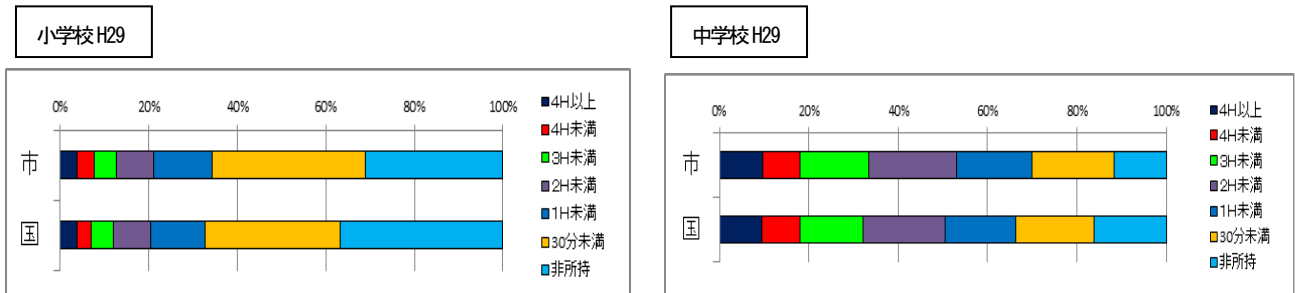
●家庭学習の時間と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係



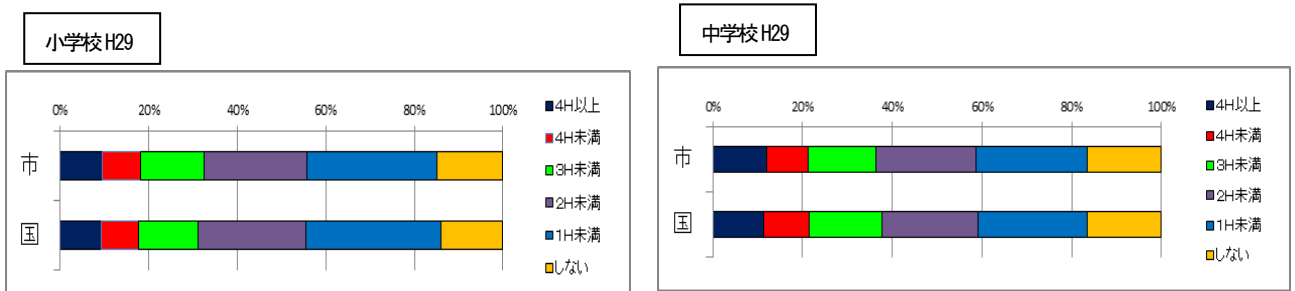
【携帯電話やスマートフォンの使い方について】

- ① 柏市の児童生徒の携帯電話、スマートフォンの所持率は年々増加しており、国より上回っています。国と比較して同程度であるものの、小学校、中学校共に、毎日テレビゲームを3時間以上する児童生徒が2割近くおり、家庭学習に大きく影響していると考えられます。

●普段（月～金）、1日当たりどれくらい携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをするか（ゲーム除く）

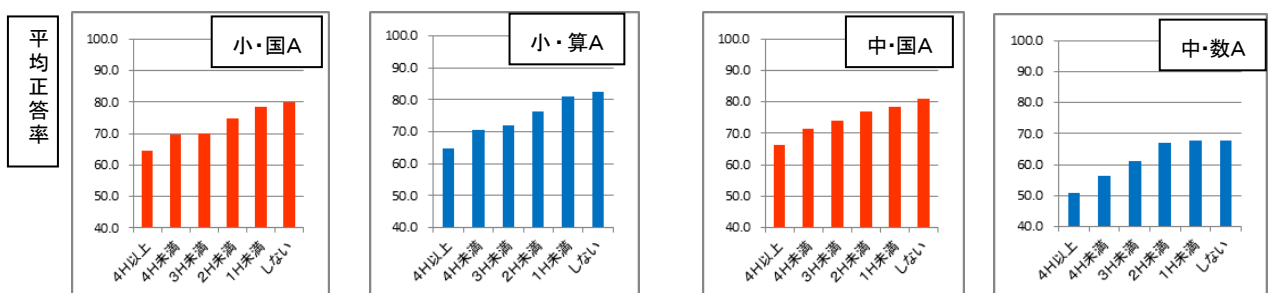


●普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をするか



② テレビゲームをする時間が長い児童生徒のほうが、平均正答率が低い傾向にあります。

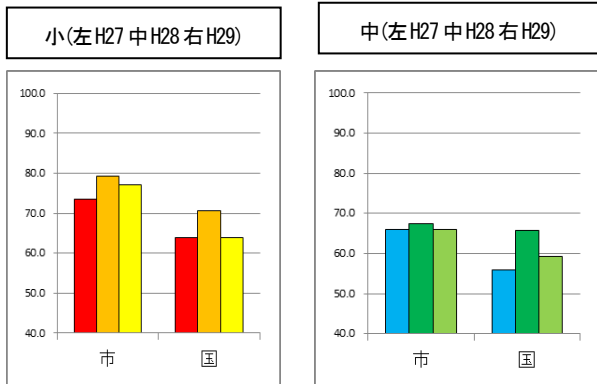
●テレビゲームをする時間と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係



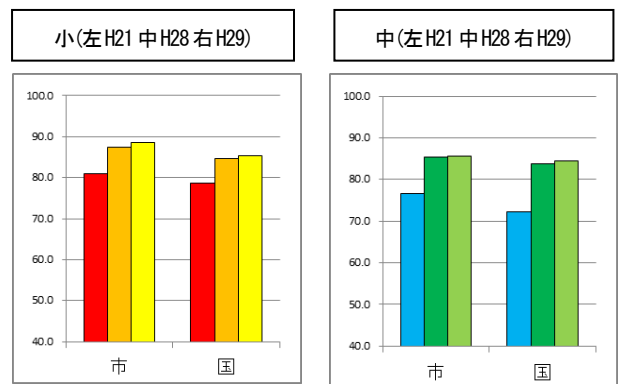
【社会や人とのかかわりについて】

① 柏市の児童生徒は、国と比較して、地域や社会の問題や出来事に関心が高い子供が多いです。また、人へ進んで手助けしている割合は、中学校は国と同程度、小学校では国より高く、良好な状況です。

●地域や社会で起こっている問題や出来事に関心はあるか

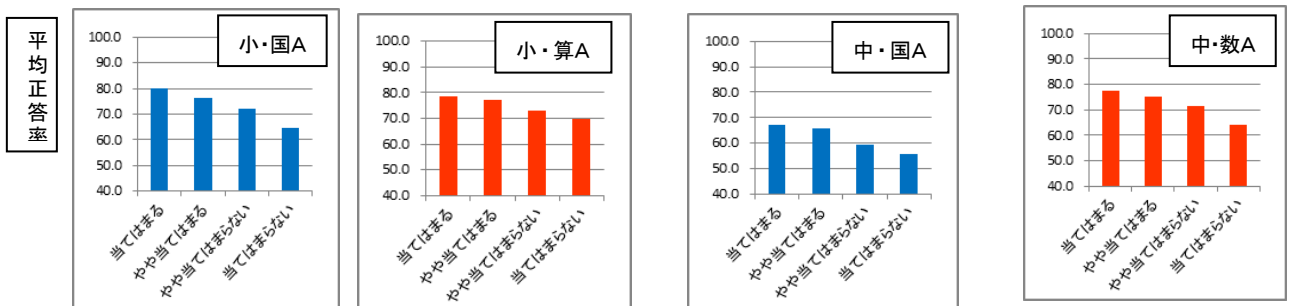


●人が困っている時、進んで助けているか（肯定的回答の割合）



② 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心のある児童生徒のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。

●家の人と学校での出来事について話をする割合と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係

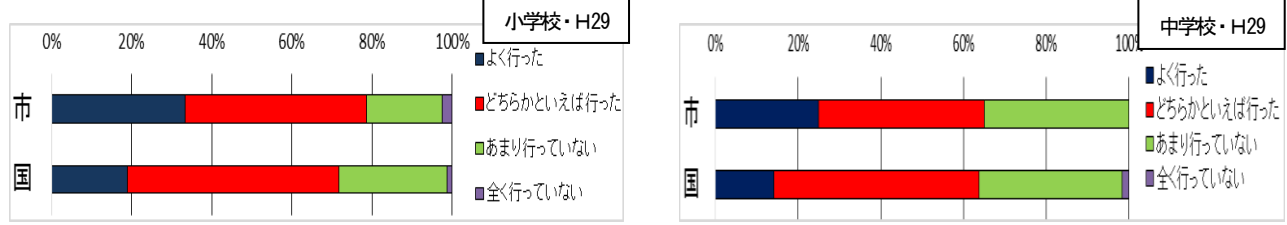


学校の取組について（学校質問紙調査から）

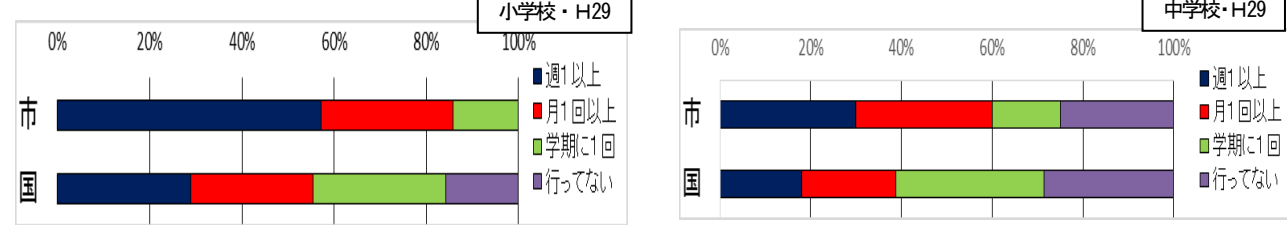
【授業での ICT 機器の活用について】（昨年度の小学5年・中学2年において）

小学校・中学校ともに、国よりも高い水準で、ICT機器を活用した授業を行っています。特に、算数や数学の授業での活用が顕著です。今後もICT機器を効果的に活用したわかりやすい授業を展開するとともに、ICT機器を活用し子ども同士が教え合い学び合う学習を推進していきます。

●コンピュータ等の情報通信技術（パソコン・プロジェクタ等）を活用して、子ども同士が教え合い学び合う学習を行いましたか。



●算数や数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン・プロジェクタ等）を活用した授業を行いましたか。

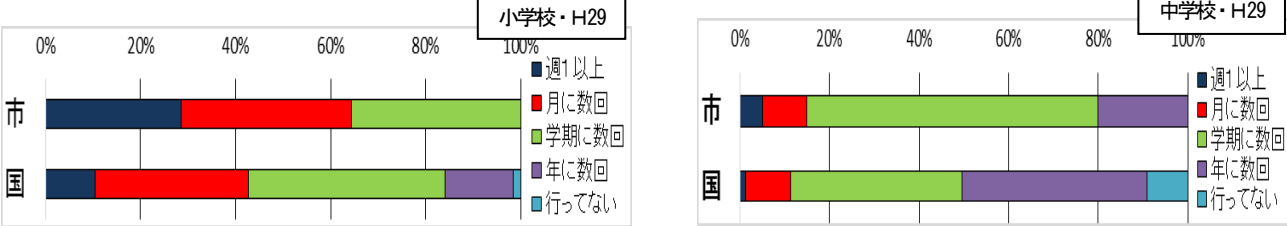


【授業での学校図書館の活用について】（昨年度の小学5年・中学2年において）

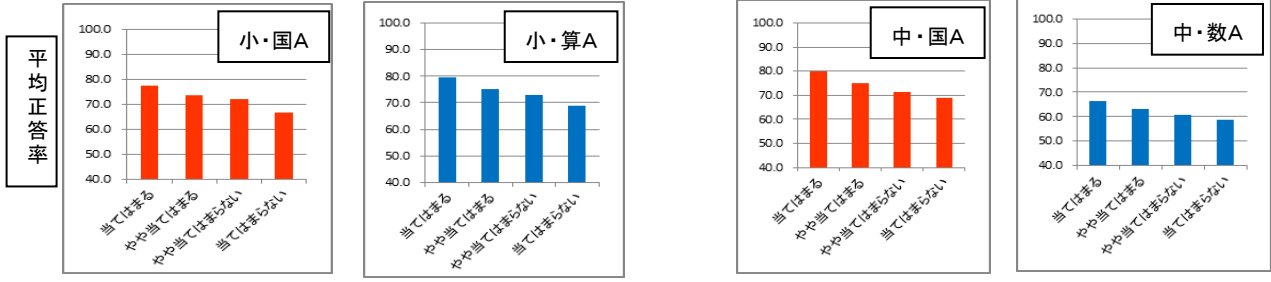
国よりも高い水準で、学校図書館の資料を活用した授業を行っています。特に、小学校での活用が顕著です。学校図書館の環境整備や各学校に常駐している図書館指導員と担任との連携が進んだ効果がでています。

柏市の児童生徒が、読書が好きと肯定的に回答した割合は、約7割で国と同程度です。読書好きと回答した子供は平均正答率が高い傾向にあります。読書は、多くの語彙や多様な表現を通して、新たな考え方に会えることを可能にします。より一層、読書活動の充実を図り、読書好きな児童生徒を増やしていきます。

●学校質問紙 図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか。



●読書が好きな割合と、国語A、算数・数学Aの正答率の関係
読書が好きと回答した児童生徒のほうが、平均正答率が高い傾向にあります。



※ 全国学力・学習状況調査の分析結果について

本調査は必ずしも過去の学習内容全体を網羅するものではなく、把握できるのは、あくまでも個々の学力の特定の一部分であることを申し添えます。

★ 柏市教育委員会の、学力向上への取組について

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象とした調査ですが、柏市教育委員会では、児童生徒の毎年の状況を継続的に把握するため、平成24年度から独自に小学校2年生から中学校3年生までを対象とした柏市学力・学習状況調査（以下柏市調査と表記）を実施しています。

つきましては、柏市教育委員会における学力向上への取組は、柏市調査の結果分析を踏まえて計画・実施していますので、その詳細は「平成29年度柏市学力・学習状況調査結果報告及び改善案『学ぶ意欲と学ぶ習慣を育む』」(<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/270100/p037779.html>) をご覧ください。